

【帰周和尚語録 略解題】

十五世紀後半、但馬国の雲頂山大明禪寺（朝来市生野町）および萬年山円通禪寺（豊岡市竹野町須谷）を歴住した禅僧の詩文を中心とする。いずれも開山は月庵宗光である。本記録の主たる著作者は、その門派に属する僧、とくに遠雲和尚の門弟と推測される。

従来の解題では、帰周彦頼の語録を前半に収め、後半は円通寺の後住が帰周の年忌の為に著した法語等である、とされる。帰周彦頼は、本記録にまみえ、遠雲の弟子である蓋然性が高い。81から、帰周は、応仁元年（一四六七）八月以前に死去しており、本書後半には、文明年間の記事が多く、また帰周の死後仏事の記事もみられる。そこで、従来の理解となつたのであろう。しかし、前半を帰周のものとする根拠はない。もとより「帰周和尚語録」という命名は正確ではなかったけれども、ほとんど帰周の著作ではない可能性も高い。著作者の推定はのちに行う。

袋綴装。全文同筆とみてよく、78から、永正三年（一五〇六）頃に写されたものかと考えられる。

内容は、大明寺・円通寺の入院法語、仏像安置や諸堂建立に関わる法語、葬儀に関わる法語や偈頌（とくに火葬に関わるもの）、死後仏事に関わる法語や偈頌（供養経に関わるものが多い）、最後に通常の偈頌となつている。個々の詩文で著作者を明記するのは少なくとも九点で、その過半は他と年代が離れる。九点を除くと、年次が明記されるのは、3の嘉吉三年（一四四三）および長禄二年（一四五八）から長享元年（一四八七）となる。

山名時熙は大明寺殿、父山名時義は円通寺殿と称し、両寺の開基・外護者として山名氏、とくに時熙（一四三五年歿）の存在は重要である。一四六〇～八〇年代を中心とする本記録には、山名氏の姿は明瞭でないけれども、葬儀や死後仏事の対象に、有力被官で但馬守護代を勤めた垣屋氏のうち、垣屋熙統・垣屋豊茂兄弟と特定できるものがある。法名表記のさらなる特定が俟たれる。

本記録を、特定の僧侶の詩文を中心に若干の他の僧侶の詩文をあわせたもの、とする場合、中心となる著作者を特定するのは難しいけれども、一つの候補として、彦達という僧侶を挙げておきたい。彦達の法語・偈頌を中心とする詩文集とみなす根拠を順に記す。

- ・ 1の大明寺入寺法語に、「祖師 一箇達上座、缺歯老凍儂、勘破了也挟路相逢、」とある。「缺歯老凍儂」は歯が欠け色艶の無い老人で、祖師を指すと思われる、狭い場所で遭遇し対面しているもう一方「一箇達上座」は新住持である自分を指しているかと思う。すると入寺したのは「□達」という僧侶である可能性がある。

- ・ 周辺史料を探ると、大明寺と同じく月庵開山の大同寺（朝来市山東町早田）に伝わる文書写のなかに、文明十八年六月二十六日月庵百年忌勤仕僧交名写がある。署判者五名のうち「大平寺 彦達」とあり、この僧侶の可能性がある。

- ・ 「帰周和尚語録」74に遠雲自讃があり、「産頼蔵主」の需めに応じたものである。遠雲

が帰周彦頼の師匠である明証はないものの、この「産」は「彦」の写し間違いではないか。本記録は字の誤りがまま見受けられる。その場合、80の遠雲への讃を書いている「産達」も「彦達」の可能性があり、本記録の著作者が垣間見えていることになる。

・ 本記録の各史料で、作成者が明示されているのは、14無文元選 15性海靈見力(応永二年) 16大化宗育力(嘉吉三年) 74遠雲(応永二十八年) 75帰周(寛正五年) 76帰周(長祿三年) 77大円?(観応三年) 79養叟宗頤(康正二年) 80産(彦)達の九件である。年次のないのは、著名な無文元選のほか、産達のみである。また、先に示した作者不明(無記名)ながら年紀のある範囲(3の嘉吉三年(一四四三)および長祿二年(一四五八)から長享元年(一四八七))と重なるのは、大化・帰周・養叟となるが、東福寺大化は寛正五年歿、帰周は応仁元年以前歿、大徳寺養叟は長祿二年歿で、長享元年まで生存という条件に合わない。

・ 著作者は、81帰周讃で自らを法弟と称し、84・87・118・123では帰周を法兄と表現している。本記録の少なくとも後半は、帰周の法弟にあたる人物の作品となる。1が□達の法語ならば、1から□達は遠雲の弟子。□達は彦達ならば、彦達は遠雲の弟子となる。帰周が遠雲の弟子である明証はないが、蓋然性は高い。

・ 本記録の法語のうち、太平寺の仏事、もしくは太平寺住持の法語であると確認できるのは、3・4・7・37・71となる。仏事の場所や法語の主体があまり明示されないなか、太平寺の記載の割合は大きい。彦達は太平寺住持であると確認されており、関連があるかと思われる。

翻刻にあたって

- * 内容ごとに項番を振り、表題などを付した。
- * 小字や割注はへ〜で表記した。
- * 説明注は()で表記し、該当箇所の下に並べている。
- * 校訂注は「」で表記し、該当箇所の次に並べている。
- * 電子データは、古記録フルテキストデータベースに登録している。

1 「彦達力但馬大明寺入院法語」 寛正六年四月十三日

雲頂山大明禪寺入院語（寛正乙酉（六年）夏四月十三日）

山門（指門云、）碧落門大啓、玉兔一輪明、（作排闥勢云、）看々、撥転閑振子、日午打三更、（喝一喝、）

仏殿 有底合掌、有底擊拳、不審中間底是甚物、（良久云、）桃紅李白薔薇紫、三人証龜成鑑、土地 仏日將晡、揮戈誰魯、護伽藍神通在何所、咄、

祖師 一箇達上座（彦達力）、缺齒老凍儂、勘破了也挾路相逢、

拋室 三尺竹篋、只応来機、坐白雲頂、空翠湿人衣、

公帖 旧時沙上鷗鷺、今日山中猿鶴、（挙帖云、）無端箇一封、移換赤水之珠、自無心得、

拈衣 不伝之伝、無相信衣、（呈起衣云、）阿呵々、依□〔稀力〕芭蕉葉、彷彿爛牛皮、

祝聖 大日本国但州路雲頂山大明禪寺新住持伝法沙門（某）、虔熱宝香、端為祝延 今上皇

帝聖躬、万歳々々万々歳、陛下恭願、天地清寧、供開千秋之寿域、山河鞏固、増壮万世之丕図、

檀那 此香奉為本寺大檀越見知但備播三州右金吾督源公（山名持豊）資陪祿算、伏願 尽力上將、常運良算於帷幄、存心外護、長作法社之金湯、

嗣香 此香、余甫六歳、於撰之帝釈宮裏拾得、此祖忌之辰也、即呼作二株桂、亦拈為一枝花雪煉日炙、唯有貞実、熱向炉中、供養 前住当山遠雲老師、用酬法乳、

2 「円通寺入院法語」

万年山円通禪寺入寺語

山門上 天降奇瑞春雪満、乾坤白銀世界内、（指門云、）建立円通門諸仁者、擬欲入得塞断耳根、（喝一喝、）

仏殿 過去正法明今日、施無畏深入三昧思惟、甚事、（拍掌云、）起々、

土地 祖父田園契券囑他、食輪不転忘仏勅那、咄、

拋室（拈竹篋云、）壁立万仞、仏祖不及、（顧視左右云、）若還透不得従、侍者迈入、（以竹篋打卓一下、）

公帖 一頭白牛露地熟眠、（挙帖云、）痛被鞭起又入雪山、（意ニヨツテ改行）

拈衣、龍被一縷金翅不吞、草鞋褰来也這風顛、（挙衣云、）看々、乃祖伝底一頂金欄、蓋覆大千沙沙界、箇々皆承此恩、

祝聖 大日本国但州府万季山円通興国禪寺住持伝法沙門（某）、虔熱宝香、端為祝延 今上皇帝聖躬、万歳々々万々歳、陛下恭願 今輪御玉燭調、金枝抽玉葉茂、

檀那 奉為本寺大旦那右金吾督（山名持豊）最高尊閣資陪祿算、伏願 再興 王室、武威顯赫、入列国於穀中、長護法域、寿量綿延、罄弘石於劫外、

嗣香 此香、夫八年之先、雲頂山（大明寺）頭、一十有三、將迎如来結制辰、而拈出一弁、今二月之中、万季峰下、三五欠二、未及世尊泥洹日、而熱向一炉、供養前住当山後住大明遠雲老和尚、以報法乳、

3 「智海見惠祭文」 嘉吉三年五月 太平寺某

祭智海見惠大師文

維歲次韶陽大洲獻嘉吉三祀律中大簇朔大尽三十日丙戌、吾 先妣智海見惠大師、於夜半湊浴、遲明屬續于播陽明石群玉菴之菴、沽洗十七訃聞但之城崎縣、俚指廼断七之前一日也、越卒哭之辰蕤賓□日、孝子小比丘〈某〉、設位於太平蘭若、敬具菲薄之奠昭、告荒斐文詞曰、
嗚呼哀哉、乖離於人、祖帳斷腸、生別猶爾、何矧死亡、凡人之逝、聞則必傷、凶音一到、俄奪阿娘、迢々雲路、不能臨喪、何日相見、如失林鸞、憶謫仙髮、三千丈長、嗚呼□哉、天資溫順、篤信慈祥、染神妙典、持誦無遑、晚慕僧儀、眼裁緇裳、器之模範、川之隄防、大尽之日、月其孟陽、夜半力疾、澡浴溫湯、殘星既没、一天曙光、神色怡然、告終安詳、儘号衲子、大限茫々、瞻我先妣、安心有方、齡垂八耄、胡云天殤、追恋平日、寸心不忘、愁雲慘淡、苦雨淒涼、嗚呼哀哉、昔羅說毀、余家奔忙、鵲鴿片影、鴻雁乱行、余在襁褓、懷擔深藏、官譴遺腹、難免余殃、男則将害、權勢何当、詐称女子、誓指蒼々、具丈夫氣、誰擊堅強、惟柔繞指、百煉之趙朔夫人、置兒袴襠、程杵克立、雪裡孤芳、古今相類、奈昧目□、人心之嶮、灝瀨瞿塘、尊親何処、一鳧南翔、三年笛裏、委命他鄉、自守貞節、靈松修篁、寡而鞠育、艱難備賞、罔極恩義、何以足償、余甫六歲、命婦覺皇、随師結文、接浙春糧、歲月荏苒、三十余霜、宗門無補、多岐亡羊、洞山不帰、猶可平章、黃檗掉臂、嬰鋒鏖定、省己絶志、養区彰業、闕編蒲謀、乏稻梁寒、窮□白髮、在堂前歲、帰省慰倚閭望、把第最爾、雨露侵床、見之不忍、单意自量、衣資充費、梗楠橡樟、新繕小築、春草鉏荒、当土木役、疾在膏肓、無一日安、将就北邙、燕雀雖賀、孰共歛康、事与心違、物理有妨、天之所感、平復如常、秋時国乱、当道豺狼、不遂侍養、高挑鉢囊、兩地相隔、似参与商、分睽昨夢、三見青黃、春飈倏起、摧折空桑、吞声慟哭、涕泗滿眶、疑見顔色、殘月屋梁、日臨卒哭、覃思欲狂、采蘋采繁、于筐于篚、魂兮盍返、一炷炉薌、嗚呼哀哉、伏惟尚亨、

4 「丹後九世戸文殊像安座点眼法語」 寛正六年二月 太平寺某

文殊大士安座点眼

奇哉金色界中主、百万人天齊仰望、九世相分刹那項、扶桑国裏是清涼、 竊聞
丹陽九世戸文殊大大士者、国初神世天造之瑞像也、爰但州氣比莊内北野教院住侶、諱寂賢、坊号智泉、初志学之後、夢有童子、携盞来、令喫茶語曰、我是九世戸文殊也、舌味酷甘、爾来馳精誠於丹山之雲、剩□思状彼像彫刻一軀、因循齡瀕耳順、近比与俗徒在洛者物部氏忠重相謀、命工建焉、遙自皇畿迎于私坊、《此今ヨリ》寛酉（寛正六年）仲春吉日良辰、供仏斎僧、以伸供養思、命太平寓居比丘〈某〉、安座開光、蓋道交年久故也、 共惟、
大聖曼殊室利菩薩、威愛妙相、三世咸称覺母、誨勵發心、七仏各由道場、即理即事、理事相資、非凡非聖、凡聖並亡、大智洞然明歷々、法身無相露堂々、住平等慈悲、則利濟普被、入差別国土、則応用無方、是故聞名瞻形者、游泳福寿海、拌手稽顙者、消融罪障霜、或入海而化龍女、早脱鱗鬣、或揮劍而逼瞿曇、不鋒鋌飲、膝〔勝力〕尊息、疑謗於白推〔椎力〕維通、

五々棟觀音為良、攪粥篋下雖乞命、玻□〔璃力〕蓋子奈爛腸、往古天神招薩埵於日域、至今梵釈遺像設於丹陽、左辺童真高擎宝篋、貝多葉了義猶秘、右辺大王堅把繩索、師子兒全威難當、頭上宝髻、誰窺無見頂相、手中如意、談論没字經王、智恩寺裡、天挑夜燈、靈燄增光、開岩堂外、龍駐盤石、檀金變黃、青松明沙、踏断一条天橋路、蒼波白鳥、認得百城烟水鄉、梵儀无擬〔疑力〕背、而模刻尊容、今獲觀此彫、裝修練專三密於呪、仰恭敬罄一心華香、過去龍孫王仏、劫數長遠爭得算、未來普現善逝、国土広博不可量、摩尼宝積、現成正覺、常喜世界、別立封疆、三身既分大聖尊、異号総在妙吉祥、滄溟虚空猶可消殞、智慧德相難尽、衲僧門下別有条章、以筆默一点云、端身正坐金毛肖、双眼默聞般若光、

5 〔竹野郷潮音堂阿弥陀・觀音像安座点眼慶讃拈香法語〕文正元年八月二十二日

潮音堂本尊弥陀如来〔并〕觀音大士三十三尊安座開光慶讃香

先安座開眼〔語云、〕宝華座上、梵相儀然、四大海目、一双青蓮、爍迦羅眼、八万四千、〔執筆点一点云、〕点出光明一管筆、照見混沌未分先、

次拈香

堪忍土中諸善人、自己靈台信不及、秋風鼓動海潮音、急着眼從這裏入、
索訶世界南瞻部洲大日本国但州路美含県竹野郷居住三宝弟子願主能弘寺〔等力〕、普募衆縁、新営堂宇、奉安 弥陀如来洎觀音大士三十三尊靈軀、示結香火之縁、茲聞、夫扶桑国裏、大聖顯応、靈場散処、中州者三十三所、中人競事参礼、以為滅罪生善之要藍、因本師記文也、三十年來最盛于世矣、貴賤縑素、老幼〔幼〕男女、匿名易服、躡屣扶杖、或躡足于千里、或糊口於万家、一州一県、比肩連袂、山行水宿、衝雨戴星、福不唐捐者乎、於爰文正元年丙戌八月二十有二日、大開潮音堂、欽集蕝衆以伸慶讃之儀、円通妙懺薰修者、一座同奇〔音〕諷演仏頂光聚悉怛哆般陀羅無上神呪之次、借手小比丘某、焚此宝香、專用供養三世常住薄伽至尊諸菩薩賢聖衆、現座道場無量寿如来觀世音大士、皇太神宮北埜聖廟等神祇、伏願、信心諸檀、弘誓深海、早駕般若法船、生死駛流、速登菩提覺岸、沙界含識、斉沐余薰者、共惟、良哉觀世音因行、親蒙古觀音記荊、二相不起証聞恵、三空俱尽現寂滅、楞嚴会中、円通選択、娑婆世界、音声解脫、所以敬礼讃嘆者、増長諸善根、練行薰修者、円成等正覚、曾起広大悲願、千手眼明歴々、常入甚深思惟、如意輪転轉々、一十二面那今は正、三十二心畢竟甚物、名字正等、六十二億恒河沙薩埵、歴参準擬、一百十城五十三知識、済度雖遊他国土、勝縁専利吾日域、一時建立方便門、遍界示現神通力、算程進歩、則宿霧裏峰頂、帰家穩坐、則残照在屋角、心灯照破無明暗、恵日消除衆罪雪、大士能現大地形、説甚一塵拳、馬州莫不馬頭尊、諸看一華発、宝藏嚴道場、一堂極美於輪奐、正法明如来、分身帰巧於彫刻、列須弥高座、安諸尊像設、孤月清輝吞万象、百川衆流輓溟渤、本師豈忘安養土、戮従今侍弥陀仏、脚頭不動直入三摩地、全軀作用即処補陀洛、白花吉祥草、桑暎瀬々、紫竹梅檀林、清風払々、正当恁麼時、只如設這法筵、作真供養功勲、在那裏、〔举香云、〕返聞能知見香〔脱アル力〕、氤氲瑞氣遍塵刹、

6 「氣比莊德雲庵觀音像慶讚拈香法語」 文正元年八月九日

德雲菴觀音大士慶讚拈香

兜樓薰徹一炉烟、黒漆崑崙鼻孔穿、變作妙雲垂布処、洒甘露雨尽三千、
大日本国但州路城崎縣氣比莊居住功德主比丘尼妙運、奉迎觀音大士尊像一軀、永安德雲精舍、
將表供養之儀、去歲六月初二日、遽爾逝矣、以夙志未果介于懷而已、茲者菴頭比丘法了、不
負顧命、取文正元季丙戌八月初九中陽彼岸之日、運出遺財、營備淨饌、延請禪侶、諷演秘章
之次、殊命山野熱此宝香、以伸慶讚、

共惟、 円通教主、補陀大士、中天慧日、世〔間脱力〕福田、返流忘所、深入三摩地、蓋
色騎声、超証如来禪、容顏奇妙、一輪滿月、華座莊嚴、百宝淨蓮、放出光明、大慈眼幽劫普
照、自在神通、悲願力歷劫猶堅、現四八応身殊相、示一四無畏威權、順逆利濟、五衰鬼獄、
前後圍繞、八部龍天、随類演法、或戒或定或慧、拋実論証、曰常曰通曰円、千光王說密呪、
超第八地於一聞之中、正法明称出世、成無上道於遠劫之先、無明癡暗、長夜永挑無尽灯、煩
惱苦海、中流高棹没底船、娑婆世界、尋声而救苦難、生靈依怙未失、香山寺裡、無瞋而割臂
目、父王惡疾立痊、無利不現、加陽春行万国、有機皆応、同滄溟納百川、化馬郎於金沙灘上、
接善財於白花岸辺、衆生迷本聞達〔達力〕皆正覚、大悲代受苦免離倒懸、至誠持念輩、遂志
願成就解脱、聞名瞻形者、增功德消滅罪潜、或宝誌十二面、指端分明披出、或菩薩千手眼、
身上一完全〔脱アル力〕、不是法爾非如然、江波踏断一荖芦、空追碧眼胡僧跡、寒濤激起長
松樹、警覺德雲比丘眠、正与麼時、只如妙雲大姉曾迎靈軀、奉安淨社、令啓梵筵、專作真供
養、畢竟功帰何処、諸人却知麼、其脱未然、却後更須看取、仲秋三五一団月、〔脱アル力〕
鑑高懸万象前、

7 「氣比莊畑上村藥師堂供養拈香法語」 応仁二年十一月二十八日 太平寺某

藥師堂供養香

慈悲深長大医王、千輻輪辺蓮吐芳、坐断扶桑那一国、瑠璃界不在東方、 共惟、
一季十二月、毎月取一日、以為預修之辰、是本朝古德所定也、氣比莊畑上村善男善女等、專
勤而修焉、曾同心勦力建一字堂、謹奉安藥師如来尊像、正当応子〔応仁二年〕十一月念八日、
殊伸供養之儀、且命太平比丘某、拈香讚揚仏事、伏願獲安穩於現世、感善処於後生、法界含
靈俱霑法味、

輪美哉兮奐美哉、金烏玉兔遶雕梁、相好具足峭巍々、福智莊嚴露堂々、如妙高山鎮屹立、似
浄満月自清涼、四大海双目清浄、三千界一舌広長、壺中妙薬灑甘露、眉間白毫放膝〔勝力〕
光、施本願力於像末、起必死病於膏肓、日月遍照両開土、夜叉圍遶十二将、非啻魔外〔脱ア
ル力〕帰降、普令人天專仰望、假令太虚空有盡、嗚呼仏功德難量、此是建化門中事、阿那箇
真正挙揚、〔挙香云〕不是一回寒徹骨、争得梅花撲鼻香、

8 「遣迎院阿弥陀像慶讚拈香法語」

遣迎院本尊阿弥陀如来慶讚香

蓮台広博宝華新、双足高擎千輪（脱アルカ）、万徳莊嚴殊特相、大光明利々塵々、
稽西方教主阿弥陀善逝、巍巍堂堂々、如金山王無比倫、語其封疆、則二百十億仏国妙嚴摂在彼
土、論其身量、則六十万億那由佗恒河沙由旬、所以五須於毫眉間宛転、照破生死長夜癡闇、
四大海目双眸等視、済度煩惱苦海迷津、無見頂不許大梵天覩、広長舌徧与三千界均、髮毛稠
密、紺瑠璃不弁、手相柔軟、兜羅綿難分、光明拳内外斉握、青白眼上下俱眊、皎潔横天帝弓
之眉、赤好揺頻婆果之脣、威容広大如師子王、梵音深妙踰迦陵頻、宝網覆空百億華幢、金繩
界道七重欄楯、宮殿樓閣随心而現、飲食衣服応念而臻、五微妙境遠離味着、八功德水洗滌貪
瞋、黄金地上経行、交接人天、栴檀林下遊戲、相忘主賓、得大勢母憶子之喻、太丁寧、觀世
音冠戴師之誠、最慇懃、園莫砌草、戒定惠香、歩々不退、水鳥樹林、仏法僧宝、念々皆眞、
安養嚴土悲願、昔之法蔵、娑婆濁世発遣、今之能仁、罪根深結、総無他方便、業障消除、幸
有這浄因、擾々塵勞速往、祇在当人心質直、杳々雲程超昇、猶如壯士臂屈伸、随处移得宝坊、
焉羨（脱アルカ）、天王賜与華屋、此土不隔邦、自然古仏、示現金身良哉、諸善男子、身心
一如宜矣、六齊日会、唱念俱純、歡喜踊躍、北野風月、賢主讃歎、衛護白嶺、男女无神、没
後同仮託胎於浄蓮九品之花、他時争薫延齡於靈椿八千之春、雖然如是、速証唯心、則不見浄
土穢土差別、頓徹本源、則何論性徳修徳疎親、如上演説、応機指陳、功無功之功、羅籠金鷲
鷲、生不生之生、敲出玉麒麟、正当恁麼時、三聖頂門眼、交羅万古靈光、（拈香云）看々、
山僧窮相手、默作一片香雲、靨黷然展布有截、馥郁乎充寒無垠、覩得透輩、是真大夫、𨔵着
底漢、不昧本来人、非啻十方諸尊普受供養、直得六趣群類悉蒙余薫、現前四来縑素、只要直
見直聞、其如未然更呈一偈、七葉樹頭花発辰、凡間善要任天掄、無量寿域大安樂、上一人
兮下万民、

新六斎堂、号遣迎院、本尊古像、堂亦旧舎、白山北野地鎮靈廟、

9 〔烟上十王堂像安座点眼法語〕

烟上十王堂安座開光明語

黄鳥綿蠻出幽谷、梅花爛発前坡、豁開戸牖無遮障、坐断見聞声色窠、竊惟、
前報受身苦娑婆、富貴貧賤共南柯、六凡四生旋磨蟻、三塗八難赴燭蛾、不覚無常殺鬼到、百
季日月疾似梭、妻子珍宝及王位、臨命終時不随化、死天山南門関、樹荊如鋒奈透過、求鞋石
路最崎嶇、失杖險板転陂陀、牙如劍樹懸衣翁、口似血盆奪衣婆、牛頭鉄棒馬頭叉、追男駈女
葬頭河、善惡無謀陳詐偽、檀茶幢女遍界見、妍醜不能逃影質、浄頗梨鏡為誰磨、諸善女草挿
一茎、八珍饌衆供六和、白雲淡竚横谷口、丹霞縹緲隔山河、十箇古仏相好（脱アルカ）、五
双冥君冠冕峨、中間安這地口尊、只為牢獄怖閻羅、若有一人成仏未、不取泥洹口吧々、宝珠
照徹闇浮提、金錫擊破捺落迦、好向生前度此身、自然降伏生死魔、一靈眞性清如水、五障幻
相起似波、掀翻業海無消滴、風吹石臼念摩訶、（筆点一点云、）点出頂門正法眼、筆拈須弥老
頭陀、

10

〔竹野郷鹿嶋天神修造化縁疏〕

但州竹野鄉鹿嶋天滿天神宮化修造疏〔并〕序（意ニヨッテ改行）

茲社廼天滿大自在天神聖廟也、託迹於菅氏之家、專侍寬平延喜之朝、文芸詩歌、于和漢莫出其右、然雖寵遇甚厚、奈何如害最深、一旦因蠅臣黑白之言、俄辭九重花柳、遙入万里煙波、哀懇至切、泣訴上蒼梵王宮殿、号即降太宰府、神德維新、仇□〔讎力〕悉復、東華威靈、永鎮壯嶽宇宙之間、古今誰不蒙其賜乎、柳亦自旺化於此地地（ママ）、已來年運荐遷、廟製將敗、風雨浸潤、苔草交加、恒産稍微、無力葺治、於爰某特短疏、徧募衆緣、蓋內抱菩薩悲心、外顯宰官身相、或投一粒米、或施一文錢、靈感衛護之応、豈其虛哉、右伏以、晴天雲雷、憤靈所激、風帆沙鳥、遺廟尚存、千里梅飛、西都主人難忘、一夜松生、北野旧德相思、雖恨百鳥於上苑之辺、終見烏頭子於龍淵之裏、不忍雨權〔摧〕碧瓦、唯憂苔上金輔、要看酒台盤讚嘆、須俟阿堵物応諾、

11 〔藥師堂修造化緣疏〕寬正三年春

藥師堂化修造疏〔并序〕

茲堂建造已來、歲月既久矣、雨露侵潤、梁棟摧殘天〔矣力〕、矧亦本尊藥師如來、金相毀缺、首臂不全、同莊之僧慮厥散逸、暫寄之南隣茅庵、於是寬午（寬正三年）之春、拙者亦寓錫于此庵、一夜睡夢間、壞像告以裝治之事、不勝感戴之至、即立志願、擬復旧觀、雖知十方檀度限小六十萬人、各人一錢過則不受、蓋図其施心易起而衆緣普結者也、

右宐以、因中十二願門、果上八万宝藏、維真諦俗諦之調御、寔像法末法之鑒王、甘露藥壺、能起南洲衆生必死病惱、瑠璃世界、正顯東方淨刹微妙莊嚴、像設分崩、堂宇荒廢、減他月光日光威德、增茲大將夜叉悲歎、靈驗惟新、訴三十二相之修補於孤枕夢、福報豈尠、求六十万人之助緣於一文錢、謹疏、

12 〔津居山十王堂落慶・地藏等像安座点眼拈香法語〕寬正三年三月二十六日

津居山十王堂落慶本尊地藏大菩薩開元安座拈香

無陰陽地一株樹、燒作真薰徹九垓、具足聞香功德力、却經久遠不忘泯、

娑婆世界大日本国但州路城崎県津居山居住奉三宝弟子、永久預懼當來苦報、逆修滅後善因、占靈区於勝景之地、創堂基於私宅之東、奉安地藏大菩薩〔并〕十殿冥王像設、永結香火之緣、

今茲寬五〔正〕三季壬午三月二十六日、開張梵筵、供仏施僧、以伸供養、諷演大仏頂万行首楞嚴無上神呪之次、特命山□野、開光安座、焚此兜樓、讚揚仏事、夫以 十方沙界

諸含靈、譬如雷車万輻輪、五蓋十纏牽妄害、三魂七魄勞識神、世間甲子在須臾、地下五百有由旬、門関三鬼縛將至、棘樹二鳥忿怒頻、死天山下重消殞、奈河津口幾悲辛、尋杖險坂最崎

嶇、求鞋石路転璘珣、馬頭擊叉牛頭呵、婆鬼奪衣翁鬼嘖、秤量幢畔七秤量、閻羅国裏大城闐、檀茶幢人善惡証、淨頗梨鏡影像親、阿鼻無間難可出、刹利首陀曾不掄、善名称刹能建立、無

仏世界仰慈仁、七宝蓮華敷池面、六種靈禽鳴水霄、殊勝殿上五宝座、洄沙定□每日晨、一念淨穢見知偏、群情門戸住立均、悲旋潤悲淚斑々、智笑士歛笑閭々、無始曠却起願力、普入諸

趣脱苦輪、覺華定仏天眼聖、近士女（脱アル力）孝心純、拔慈悲母墮獄苦、大菩提心度生因、

虚空仏身授記萌、六種名字永敬謹、如有衆生成仏未、不取泥洹苦口陳、忉利天宮重受屬、娑婆忍土利生民、六環金錫摧牢獄、一顆宝珠雨七宝、除饑之男最厚夙、福所招（脱アルカ）猶忱恂、当来苦報堪恐懼、没後預修甚慇懃、一字華堂輪美、十殿冥君冠新、全憑檀那堅固信、更現持地尊時身、各具金剛雙眼睛、点出光明偏刹塵、海氣化雲侵戸牖、波光浮日曜欄楯、往還雲帆与烟篷、遊覽月客又風賓、逢境随縁便解脱、触塗成滯只沈淪、頭即凡心見自性、不動念頭契天真、斎入仏薩婆若海、度尽阿闍提人（脱アルカ）、截岩通水昔神劍、孤嶋衝大今要津、把断要津絶凡聖、優鉢華開却外春、

13 〔岱華宗栄下火法語〕

宗栄禪定門下火

宗爵縱其奉主君、那如無作大功徳勳（ママ）、分明揭示転身处、火裡蓮華新吐芬、恭惟、新捐館岱華宗栄公禪定門、紫塞英物、将家后胤、坐于碧油幢、离次羅列八陣、入于細柳營、羽扇指揮三軍、一朝星隕于陣前、誰不嘆嗟、今日威蓋于海内、義攘妖氛、凜然神威、握拳透其爪、矍鑠氣宇、嚼齒穿其齧、旧無安危治乱変、今無生死去来相、只一念纔瞥順逆二境紛紜、所以妙性円明離諸名相、本来無有世界衆生、若如此見得、鑊湯鑪炭当処変作清凉水、劍樹刀山直下消為紫采雲、約吾祖宗門下、説甚麼鑊湯鑪炭、論甚麼劍樹刀山、廿三年前、恁麼出生、只這個、廿三年后、恁麼入死、只這個、仏々出世、祖々相伝、只這個、且道、這個是斯什麼、喝一喝、八両元来是半斤、（意ニヨツテ改行）

14 〔中峯明本頂相讃〕無文元選

古仏出〔塵脱〕世、高峯真的伝、玄風宏振地、聲価遠鳴天、言下弁邪正、機前破蓋纏、要知地〔他〕面目、深夜日〔月〕輪円、末法比丘元惠（ママ）九拝、

中峯（明本）和尚頂相 無文（元選）和尚賛

15 〔性海靈見力頂相自讃〕応永二年 大化宗育力書写

面目現成呈醜拙、髮毛懶剃乱鬚髻、不朝天子逃召命、竊此身於南嶽僧、乙亥歳（応永二年カ）性海（靈見力）和尚自賛、属末比丘大化（宗育カ）眎鈞敬書、（意ニヨツテ改行）

16 〔某頂相讃〕嘉吉三年九月九日 大化宗育カ

儼然色相眼中塵、五彩円成身外身、不識元来何面目、虚空背上莫求真、于豈嘉吉癸亥（三年）重陽日 大化（宗育カ）叟書

17 〔偈頌〕

妙高峯頂行船、揚子江心走馬、唐人不知此容義、付与日東及侍者、木人睡熟、日午三更、一場閑夢、生与無生、

18 「威德庵宗精下火法語」

宗精菴主秉炬

空華結果万行門、贏得勤修精進力、踏斷從前死路頭、唱起無生那一曲、 共惟、
威德開基宗精菴主、志性質直、胸襟灑磊、須信俗諦摠是真、誰知禪界元無欲、曾受洞上宗旨、
單探教外秘訣、七十五年威德自在、十二時辰工夫綿密、白象崑崙騎、跳出凡聖羅籠、里〔黑〕
狗爛銀蹄、裂破煩惱緊縛、異苗繁茂幾春風、葉落歸根此時節、雖然恁麼、歸家穩坐底一〔句〕
脫力〕、如何宣說、太冶精金終無變色、

19 「泊船庵昇叟明器都寺下火法語」

為昇叟明器都〔寺脫〕下炬

生滅去來總是禪、一靈先地又先天、只記大器晚成處、水淺風帆不泊船、〔打一円相〕這個是
新円寂泊船菴頭昇叟明器都寺轉身一路、〔指棺云〕陸地花開臘月蓮、

20 「元等庵主下火法語」

元等菴主火

新円寂元等庵主、永謝幻有徑人真空、吸尽黒川万丈流、踏斷雲頂千仞峯〔大明寺〕、鉢盂心
縁、不昧本來面目、拄杖隨身、展開自己家風、皮袋一靈、常在遠中、不離家舍、一靈皮袋、
常離家舍、不在途中、生也不道、〔蛇脱〕吞鼈鼻、死也不道、虎咬大蟲、雖然恁麼、打破末
後牢関、擺脫從前籬籠底一句、快須薦取、南山燒炭北山紅、 石病比丘元等菴主請秉炬語、
書以塞其命、□滿多岐、一条活路、匝地清風、前程步步、

21 「栢岩宗森下火法語」

栢岩宗森禪門〔大森某力〕下火

一株大樹自森々、蒂固唯知根亦深、昨夜昆嵐忽吹倒、天香桂子仲秋今、 共惟、
新物故栢岩禪門、軒昂氣宇、磊落胸襟、馨其孝則堂親永侍養、懷其惠則鄉党以敬欽、治生產
業雖處塵勞境、得度因縁常遊功德甘、一心延請百員苾芻、便招龍天擁護、同音看〔脱アル力〕
千部妙蓮、新感賢聖降臨、虛生浪夭者只在三界、極喜惡人終無中陰、觀彼久遠、劫火幾回燒
海底、體露真常、桑暎依旧上碧岑、不起維摩床榻、四大内臥何疾病、似慕世尊涅槃、八十歲
聞个凶音、悲母已亡日及一句、慟哭猶泄兒孫哀、慈父又去劫先九十、誓約曾見夫妻忱、先師
室内同受衣盂、灼然是真還俗送行、夫妻直示徑路、元來即仏即心、誰嬰其鋒、群魔瞻落吹毛
劍、徒勞側耳、無生調軫沒絃琴、到這裏、煩惱菩提全無迷悟、天堂地獄那有昇沈、全機独脱
蹤跡難尋、正当恁麼時、〔拳火云〕火把饒舌、忍俊不禁、諦聽々々、紅炉焰上、百煉精金、

22 「性天道聞下火法語」

道聞禪門火

無病一朝俄掩棺、木人石女淚欄干、聞声悟道底消息、打岸風濤日夜寒、 共惟、

新物故性天道開禪門、性存朴実、心忘欺謾、地水火風之四大、不妨分散去、夢幻泡影等六喻、
応作如是観、無角鉄牛痛着鞭、三年甲子踰弱冠、紅榴花映日、曠劫無明无仏性、黄梅子熟雨、
現今生死即涅槃、雖然与麼、不踏旧時途轍、要透末後牢関、若還透不得、急須子細看、〔擲
火把云、〕丙丁童子、言端語端、

23 〔妙総庵殿大沢□長下火法語〕

妙総菴殿大沢長公禪定門下火

当頭坐断主人公、十聖三賢立下風、要識本来真面目、今朝春雨打長空、 共惟、

大沢長公禪門、志操霜肅、懷抱春融、芦雁成行中沢烟水、蛭蟻牽夢大槐深宮、早知有為虚幻、
五濁世間、臨難不顧危亡、百戰場中、細宮柳（ママ）凱歌献捷、碧油幢武略賞功、提布毛話
余風（脱アル力）鳥窠（道林）志、諳鎖口訣驀地参仏心宗、何処求心（脱アル力）不於三世
中、得言前領旨直向六句外、通機転輪処、金鷄一拍扶桑曉、箭鋒拄（脱アル力）時、鍔船抹
遇海門東、六趣輪廻、有来有去、大円鏡智、無始無終、正当恁麼時、踢翻生死窠窟、跳出凡
聖羅籠、一句作麼生道、〔擲火云、〕今日是人日、火蛇吞大虫、

24 〔淨功下火法語〕

淨功禪門火 〔寺前住居、受臨川衣、／黒川山中代〔伐力〕木為業、〕

八功德水一時乾、舜若多神毛骨寒、滿袖春風人日後、梅梢吹落雪团々、
新物故淨功禪門、妄見空華、五蘊非有、譬如火宅、三界無安、樓閣門前、曉鐘殷々、夢破茅
店月色冷、烟霞深处、代〔伐力〕木丁々、回頭樹杪夕陽殘、黒山鬼窟蕩尽生涯、臨川涓滴爛
却肺肝、正与麼時、説甚無明煩惱、論甚生死涅槃、只如末後一句始到牢関、又作麼生、〔打
一円相云、〕欲知端的火急看、

25 〔済川宗普預修下火法語〕

宗普禪門下火

塵々爾普光明殿、箇々元来廬舎那、非古非今涅槃相、鶴林夜目照沙羅、 共惟、
新物故済川宗普禪門、処身儉約、稟性温和、大家共談無生、追慕龐居士（蘊）、世間仮示病
悩、始同老維摩、明珠走盤、特地擺脱凡聖窟、利劍出匣、自然降伏生死魔、絶去来之相於真
浄界、泯起滅之蹤於苦娑婆、進步那邊、勢殺鉄崑（脱アル力）、轉身一路、驚倒舜若多、雖
然恁麼、末後更有牢関在、正好直下透得過、〔擲下火把云、〕炙地熏天香払々、紅炉燄上玉芬
陀、

右、宗普禪門病中求秉炬之語、書以塞其命云、專願除沈痾於現世、感善処於後生者也、

26 〔金剛寺殿信叟宗忠（垣屋熙統）下火法語〕（文明八年三月頃）

信叟宗忠禪定門（垣屋熙統）下火

七十季来只至公、委身賢宰策金功、々名不愧麒麟閣、白髮丹心一寸忠、

金剛寺殿信叟宗忠禪定門、將門良弼、海內英雄、儀刑秋霜肅、懷抱和氣融、仁慈所罩無偏無黨、節義不移有始有終、蔽芾思人樹（脱アル力）、遠遺愛誰敢忘、在日繁茂指佞草、埽降人皆立下風、早入円心大機（笑堂堂訖）室、親參单伝直指宗、所以生死魔膽落、提三尺吹毛劍、煩惱賊魂消、弄一張神臂弓、雖絕起滅蹤於大円鏡裏、仮示去來相於堪忍中土、泥捏金剛、卓監〔堅〕寒毛、昆嵐吹折須弥柱、筆描菩薩、穿却鼻孔、優曇開遍荊棘叢、炙地薰天香払々、機輪転処路通（脱アル力）、正与麼時、路頭在那裏、〔擲火云〕紅炉焰上雪、煉出太虛空、

27 〔徹叟道見下火法語〕

為徹叟道見禪門下火

即心非心々伝心、知見無見々離見、閻浮五十有八年、只是虛空裏閃電、 共惟、

新物故徹叟道見禪門、有為虛幻、俄頃出生入死、無偽質直、自然真履實踐、志操確乎、出治百鍊精金、義氣涼然、倚天一張利劍、臥維摩病床、未上但觀幻化身、具龐老（蘊）機鋒、直下好見娘生面、輪廻業根截作三段、綿密工夫打成一片、無生調轉、倒橫少林笛、牢関射透、駕起威音箭、驀地踏斷多岐、当頭放開一線、且道、即今不于生死遷变底句子、如何弁、〔擲火云〕煉得紅鑪雪、跳出金剛圈、

28 〔正菴心覺下火法語〕

正菴心覺禪門下火

誰知念念是無常、奈箇輪廻劫數長、覺了法身無一物、出生入死不相妨、
新物故心覺禪門、生來訖身於金地、埽敗破夢於竹鄉、涅而不緇、天然骨格、磨而不磷、鉄做心腸、幸哉值良導、夙縁已在少季、入室曾受大機（笑堂堂訖力）、師無相衣、老而益強、徒步不遠千里去歲、徑踏金剛峯勝會場、妙性円明、如孤月処太虛、罪障消融、似初日照嚴霜、重々寶糸網、不受他羅籠、凜々吹毛劍、誰嬰鋒鋷（脱アル力）、单伝旨遠自少林得、參決何揀真俗、無生曲正入薰風奏、調高不墮宮商、白雲青嶂、高厚水智、非是道必非仏、緑陰芳中、勝花時昔、不啻生今不亡、与麼時、別有轉身那一句、更聴丙丁童商量、〔擲下火云〕九々元來八十一、火裡蓮華遍界香、

29 〔浄祐下火法語〕

浄祐禪門火

天之所祐此翁々、短世能将寿算終、八十七季彈指境、一時消殞太虛空、 共惟、 新物
故浄祐禪門、自性無染汚、蓮出泥裏、懷抱頗質直、蓬生麻中、暫処有為虛幻境、專暮单伝直指宗、鐘鳴漏尽時、好識本命元辰、神出鬼没処、全顯自己家風、即今生死斉脱、凡聖双融底一句、如何薦通、〔擲下火云〕柴自青火自紅、

30 〔備州太守〕建仲宗立下火法語〕

建仲宗立禪定門下炬

為君喚起主人公、四十余季一烏疾、正是安身立命時、曉風殘月慶秋照、 共惟、

新捐館備州太守建仲宗立禪定門、懷抱溫和、志操謹潔、水菽以足罄孝養、松筠以足比貞節、
无明煩惱、如樹頭繫風、菩提涅槃、同炉中煉雪、人空法空畢竟空、刹說塵說熾然說、參仏心
宗、則進列大明之門、受仏袈裟、則親入大慈之室、威音一隻箭、百發百中、吹毛三尺劍、全
活（脱アルカ）、四魔群休戰於降旗、一心地收功於汗血、古路鉄蛇横、無生々故当生不生、
澄潭泥牛吼、幻滅々故非幻不滅、且道、那箇是不生已生非幻不滅底道理、正好直下見徹、只
如昆（毘）嵐風猛起、須弥柱摧折、向甚処進一步、諸人却他轉身一路麼、其或未然、待火把
子饒舌、（擲下火把、）

31 「道闇下火法語」

道闇禪門下火

本人石女斉心哭、何事闇々笑滿腮、昨夜毘嵐猛風起、前村吹折一枝梅、 共惟、

新物故道闇禪門、雖処器界、不染塵埃、心地一顆明珠、当陽撒出、自家無尽宝藏、即時打開、
幻生幻滅、非去非来、元無白牛車之出火宅、何有安養土之託蓮胎、麒麟掣斷黄金鎖、鑊湯炉
炭吹令滅、焦輒打着連底凍、劍樹刀山喝即摧、希有々々、奇哉々々、只須怎麼承当、切忌涉
疑猜然、雖如是、別有轉身一句、（擲火把云、）火蛇吞却涅槃台、

32 「某下火法語」

吞声慟哭仲春時、旅店黄梁只半炊、莫認去来生滅相、元来比性不曾移、
内抱孝悌、外施仁慈、乘急位別苾芻、戒緩身忘毘尼、將謂混世間流俗、猶能詣格外風規、龐
老機鋒雖具、維摩病惱難医、摧折二十五有輪転、抛却六十余季昨非、南海淵辺獲珠時、一生
受用無尽、広沢中間蔵山処、諸人議擬不来、舜若多神、腸断三世寥廓、黒漆崑崙、泪墮四大
分離、劫火烧尽大海洋、昆（毘）嵐吹倒五須弥、正当怎麼時、轉身句如何提持、（擲火云、）
臭烟蓬焔、菡萏一枝、

33 「松岩妙秀大姉掩土法語」

松岩妙秀大姉掩土（十二月廿一日逝、）

三冬臈迫雪慢々、遍界香飄梅花蘂、陸地紅蓮秀色新、七十光陰一彈指、 共惟、
新物故松岩秀公大姉、操履貞潔、天資純粹（粹力）、雖処女流形、全具丈夫氣、三世仏悉俛
摩耶胎、百草頭直呈祖師意、亡円鏡中法身無相（ママ）、赤肉团上真人位、鉄蛇吞却涅槃台、
泥牛踏裂如来地、正与麼時、只箇土窟子、即慈代宮裏、雖然如是、更有轉身一路、（指棺云、）
快須薦取饅頭辺事、

34 「了心了性了本下火法語」

了心了性了本三禪門火

心性本来空又空、三屍洽葬一坑中、雪山崩裂同条死、烈燄堆頭活路通、 新物故——三禪門

天寿苦樂、草上結露、生死去來、樹頭縛風、諸行無常、春水滿四沢、是生滅法、夏雲多奇峰、生滅々已、秋月揚明輝、寂滅為樂、冬嶺秀孤松、古仏曾演四句偈、同中有異、山僧各下一轉語、異中（脱アルカ）同、莫々切忌滯岐路、咄々快須出羅籠、恁麼々々坐看雲起、不恁麼行到水窮、雖然如此、那邊別有歸就處、（擲火云、）臈余五日、斗杓將東、

35 〔正庵妙宗尼下火法語〕

為正庵妙宗禪尼下火

百川歸海咸朝宗、日夕洪濤巨浪春、驀地掀翻無一滴、吞声慟哭妙高峰、 共惟、
新物故正菴妙宗禪尼、天資慈忍、風貌涅槃、妙性円明、何干五障、婦德善順、保守三從、毛凡二十五有幻、出眼裏空花、甲子五十六季夢、破夜半樓鐘、雖現去來相金（ママ）、不見起滅蹤、無鼻嗅香、還他恒河神、變女成男、見此沙竭龍、正与麼時、那直須進轉步、那邊更有活路通、炎天六月降霜雪、遮莫清風吹碧松、

36 〔仙屋寿恩尼下火法語〕

仙屋寿恩禪定尼火

七日停龜臨化壇、恩波断処受河乾、濺花細雨痛腸淚、二月春風鶴樹寒、 共惟、
新物故仙屋寿恩禪定尼、松筠志操、冰玉肺肝、訓其子遷三舍、断機在手裡、敬其夫如高賓、挙按〔按カ〕齐眉端、無相信衣、惠日光中親信受、单伝心印、退畊派下如心安、從賢聖法來、未曾殺生、罪福虚幻、脱却業繫、於子母忘処、不存性命、逆順縦横、論甚産難、塵寰四十季轉身、越龍兒（脱アルカ）成正覚、仲春三五日掩粧、同釈迦文入涅槃、如空合空、男女相不工、似水投水、生仏体無間、雖然恁麼、末後一句始到牢関、一步闊一步、直下透過看、透過後如何、（擲下火把云、）熾然猛火聚、煉出雪一団、

37 〔却外明永尼下火法語〕於太平寺

却外明永禪尼下火

驀地一得永不失、上下四維無等匹、円明寂照大涅槃、前山黄落風蕭颺、 共惟、
新物故却外明永禪尼、志性純淑、操履貞美、雖処女流身形、全具丈夫氣質、閻浮界中在五滓、則随縁抱子弄孫、太平室内奏一曲、則当陽離呂越律、脚下紅線忽断絶、自然心機無滯、手中金針豈度与、自然工夫綿密、万法帰一一非一、青州一領衫、五蘊皆空々合空、大地一条鉄、無樂邦可欣、無苦域可厭、无業障可尽、无生死可出、沙竭龍女成正覚、時々是好時、黒漆渾崙掉臂行、日々是好日、有往有來、无固無必、然与麼、那邊更有轉身句、直須悉悉、（擲下火／把云、）丙丁童子口喃喃、摩訶般若波羅密、

38 〔妙光尼下火法語〕

為妙光禪尼下火

閃電光兮猶是鈍、竜女献珠豈速疾、火蛇吞却涅槃台、等閑放出遼天鶻、 共惟、

新物故妙光禪尼、柔和之衣、慈悲為室、塵網張而難透、信根確乎不拔、四生六凡如汲井輪、三從五障似繫駟轡、從聞單伝直指、祇要碎身粉骨、靈独耀脫根塵、自然返本還源、万象不能逃影質、正好離指見月、々上女掩彩々々、城東婆苦屈々々、黑漆渾崙劈破虛空、紅炉熾焰煉出片雪、正与麼時、抛却百歲光陰、踏翻旧時窠窟底一句、如何剔抉、〔擲下火把云、〕優曇鉢華臭烟蓬煇、

39 〔正法寺殿特芳宗殊尼下火法語〕

為特芳宗殊禪定尼下火

海中說法老文殊、無垢道成龍女軀、不墮從前旧徒轍、紫羅帳裏撒真珠、 共惟、
正法寺殿特芳宗殊禪定尼、貞節可以比松筠、美行可以比瑾瑜、婦德克配君子、氣概不異丈夫、非是男非是女、久止毘耶室、也不易也不難、猶脫靈照模、炉中叵薰久魂香穗、肘后俄失護身神符、子母忘处、掀翻無明窠窟、恩愛斷時、拔出煩惱根株、香飄世界現曇華、葉落秋風入碧梧、昔曾不生、莫認昨日有、今亦不亡、何論今日無、有無兩尽、五須弥倒卓、生滅俱泯、四大海乾枯、端的轉身一路、說甚八難三塗、〔擲下火云、〕煉虛空出片雪紅炉、

40 〔妙性尼下火法語〕

為妙性禪尼下火

本来妙性只円明、五欲淤泥蓮自清、驀地掀翻生死海、 当陽竭倒涅槃城、 共惟、
新物故妙性禪尼、君子已偕老、但能遂三從、女身雖垢穢、不敢恣六情、三千界蹤跡不留、八十年夢境俄驚、堪忍土徒執男女幻相、浄法界元絶凡聖假名、可憐城東老姥、十指頭金容皆現、不見沙竭龍女、無垢界正覺方成、大地起炎塵、身心安居現成是何物、六月買松風、平等正智必竟作麼生、見道真時、枯木裏龍吟、喜識尽处、髑髏裏眼睛、直饒怎麼信得及、急須轉身於那邊、直下進步於前程、〔擲火云、〕看々、泥人潭底浴、木馬火中行、

41 〔妙勢尼下火法語〕

妙勢禪尼火

人間勢力已終焉、心月高懸万象前、前（ママ）未到仲秋三五夜、清光只見十分円、 共惟、
新物故妙勢禪尼、孝心已純、婦德兼全、俄辞三從服勤、忽脱五障塵縁、幻化空身雖有来去、木有真性何涉變遷、堪笑城東老婆、十指尖頭猶見金容、可憐沙竭龍女、無垢世界正坐宝蓮、正与麼時、生死岸畔轉身那邊底一句、作麼生宣、〔擲火云、〕火中木馬走如煙、

42 〔瑞雲妙慶尼下火法語〕

瑞雲妙慶禪尼火

正是身心放捨時、深心慶幸不応悲、髑髏眼活紅炉燄、煉出黃花一兩枝、 共惟、
新物故瑞雲妙慶禪尼、堅持貞節、偏抱仁慈、身如聚沫、五障頓泯絶、性何処（脱アルカ）、四大各分離、曾扣教外禪室、親受伝来信衣、八十一年須臾甲子、孤枕半熟黃梁、百千万劫本

来面目、一顆五色麼尼、趙州（從諗）勘破、台山路上老婆子、無垢正覺、沙竭宮中海龍兒、生現不生之〔生脱〕、雲駛月運、滅示不滅之滅、舟行岸移、正与麼時、那邊更有轉身句、正好冷煖自知、〔擲火把云〕火吞却即心仏、黑漆毘盧笑展眉、

43 〔正中宗法尼下火法語〕

正中宗法禪尼火

若木陽昇正法眼、梧桐葉戰涅槃心、看々子母俱忘处、紅爛透過荊刺林、貞潔琢白玉、心肝鑄黃金、住地煩惱一百八、歸依仏法僧、世間甲子二十五、彈指古來令、竜女變了、正好奉獻宝珠、鴛鴦綉出、為誰度与金針、破除三有、空尽五陰、

44 〔玉溪宗玖大姉下火頌〕

生死海中来問津、報將瓊玖恐非真、君看陳年閑滯貨、一回举着一回新、玉溪宗玖大姉秉炬項〔頌〕

45 〔宗理尼下火頌〕

生来死去者其誰、理尽詞窮絶百非、吾有送行那一句、緑陰芳草勝花時 宗理禪尼〔四月初〕

46 〔善見童下火頌〕

見猶難見々無及、竹密不妨流水過、一句了然超百億、帰降生死罌中魔、善見童子

47 〔善初童下火頌〕

周行七步不躊躇、末后何嘗異最初、猛火聚中高着眼、七枝秀出玉芙蓉、二歳姪兒、号善初、

48 〔善男童下火頌〕

善不思兮惡不思、返思一箇不思々、々量尽处翻身転、正是虚空墜地時、善思△男歟、▽童子

49 〔妙西尼預修下火頌〕

借地一顆宝珠円、照破幽都晃々焉、若会先師无此語、不妨写作送行篇、〔妙西禪尼預求秉炬語、書 大明師祖（月庵宗光）陳語／以充其諸、加以一偈薦其超昇云、〕

50 〔説溪宗言下火頌〕

今送君行有一言、火蛇吞却鉄崑崙、若還於此尚疑著、秋入梧桐葉々翻、説溪宗言禪閣

51 〔道善下火頌〕

三有界中三善道、人間一老一不老、生死苦海駕鉄船、古帆高掛到岸旱、道善禪門

52 〔妙月尼下火頌〕

本来面目露堂々、妙用恒沙難可量、這裏誰分男女相、人間七十有三霜、妙用禪尼

53 〔妙現尼下火頌〕

現成公案報君知、二月春風花發時、先仏涅槃今日、相応三五不堪悲、妙現禪尼（二月九日逝去、）

54 〔妙珍尼下火頌〕

世間暫現女流身、五蘊山中無価珍、八十二季年（ママ）塵垢尽、十方世界宝光新、妙珍禪尼

55 〔妙性尼下火頌〕

十日已過重九期、如今生死到来時、看々妙性円明処、未必秋香一夜衰、妙性禪尼

56 〔文翁昌仲下火頌〕

現男子相託人中、生死元来必竟空、赫々大明無不遍、象王行処絶孤蹤、文翁昌仲禪門火

57 〔妙通尼下火頌〕

涅槃生死本来空、拶透牢関活路通、激起黒川一滴水、法船高駕古帆風、妙通禪尼

58 〔妙恩尼下火頌〕

一枝火把為亡魂、吾祖老婆親切思、猶有大明余裂在、三途爍破暗昏々、妙恩禪尼下火語、書大明師祖（月庵宗光）語充諸、仍述一祇夜之、

59 〔長保庵殿蘭室□秀尼下火法語〕

長保庵殿蘭室秀公禪尼下火

貞節不知霜雪侵、茂松独秀緑成陰、夜来吹折歳寒櫟〔操力〕、愁殺梅花鉄石心、共惟、新物故——尼、心性如蓮、泥水不汚染、婦德似蘭、幽谷自芬芳、家室訓子、則其機信乎〔手力〕而断絶、燕寝敬夫、則其按斉眉而拳抗〔忱力〕、幻化空身、雖居有為、實際理地、專帰真常、芒屨難縛玉麒麟、金針擲下綉鴛鴦、十方世界、全機進步一条鉄、六十五季、是柔繞指百鍊網、月上女元非同侶、沙竭龍徒自仰望、乾闥城中有界有女、大円鏡裏無存無亡、雖然恁麼、直須撒透末後牢関、正好見徹本地風光、即今臨岐一句、只要直下承当、火裡紅茵菖、臈月一枝香、〔擲火、〕

60 〔仙岩宗桂童掩土法語〕

仙岩宗桂童子掩土

□天奪此寧馨兒、六歲光陰夢裡移、憎殺狂風撼無賴、□來吹折桂花枝、
元仙岩宗桂童、彩雲忽散、草露易晞、寸苗不實、今丁茲厄、蟠桃結子、長違所期、百城烟水、不見童子跡、謝家芳庭、偏增令父悲、人間世但論天寿禍福、真常界无無憎愛別離、莫道是兒戲、良哉聚沙為仏塔、豈輒他童蒙、自然懷橘侍親闈、幻化空身去來無相、本來面目善惡不思、一超直入如來地、刹那頓越阿僧祇、涓滴全無、劫火烧尽大洋海、一塵不立、毘嵐吹滅五須弥、正与麼時、急須帰本宅、切忌沙〔涉力〕多岐、鑿地一下云、這土窟子、正好坐断三有、向鑿頭辺、直下撥転一機、且道転処如何、木人石女痛腸潺〔涙力〕、江上青山理玉時、

61 〔集雲祥藤下火頌〕

有句無句、如藤倚樹、燒却葉根、仏頂光聚、
集雲祥藤禪門下火

62 〔妙薰尼下火頌〕

大明火種、靈照無辺、真薰々微、盛光現前、
妙薰禪尼

63 〔妙金尼下火頌〕

紅炉焰上、百鍊精金、々光大明、照破中陰、
妙金禪尼

64 〔道円下火頌〕

生本不生、妙性円成、火光三昧、徧界大明、
道円禪門

65 〔妙因尼下火頌〕

三界無宅、論因論果、大明光中、惟空真火、
妙因禪尼

66 〔道忠下火頌〕

惟忠惟孝、只在五常、大明円照、光徧十方、
道忠禪門

67 〔道泉下火頌〕

法炬熾然、光徹黄泉、大明普照、蓋地蓋天、
道泉禪門

68 〔月庵宗光百年忌拈香法語〕長享元年

大明開山大和尚〔月庵宗光〕百年忌香

□源涓滴激横岳、正脈流通黒水翻、特地北來生苕蒂、当陽提起破砂盆、照看雲頂峯〔大明寺〕頭月、推出扶桑夜半暎、〔拈香云〕這爛拈柴百季後、宝炉薰徹尽乾坤、

心月全得禪定門三十三白香語

(付箋「応永二十八年卒」)

金鳥玉兔疾於拔、三十余年只刹那、紅樹經霜黃菊老、一靈真性竟如何、

大日本国山陰道路但馬州 (ママ) 県居住奉三宝弟子孝界等、寬正四年癸未九月念七日、

伏値

先考心月全得禪定門三十三回忌辰、特就于宝珠禪庵、供仏齋僧、酬罔極恩、法華妙典、漸写者一部、円通懺摩、薰修者一座、謹命現前比丘衆、諷演白傘蓋無上神呪之次、借手山野、焚此宝香、專用供養靈山会上婆伽至尊、秘密教主毘盧覺王、妙德遍吉觀世音持地尊、諸大薩埵賢聖僧衆、十殿慈王冥官冥衆等、所鳩殊勲、奉為靈位、追嚴冥福者、伏願、無明闇尽心、月朗法性之天、衆生界空覺、花開涅槃之岸、共惟、先考心月全得禪定門、這烈大夫、威而不寧、豈比小人、同而不和、事親以孝、温情定省頗純至、奉主以忠、險阻艱難備嘗過、心猿攀三毒樹、発由基(養)箭、惠日消衆罪雪、回魯陽戈、泯真相於来去、融我見於自他、橫秋蒼鷹、恢々天網、截流香象、哀々禪河、一口吸尽西江水、機鋒誰触龐老、一默轟奔旱天雷、疾(脱アルカ)曾問維摩、心到無心始安心、富嫌千口少、得及無得正全得、貧(脱アルカ)一身多、跳出凡聖窟、踢翻生死窠、地獄天(脱アルカ)空華結果、都史安養無風起波、虚空突出那吒面、風吹不白念摩訶、正当恁麼時、保佑後昆底、一句作麼生道、(挙香云、)一炷香雲遍沙界、陽春白(脱アルカ)太平歌、

栢岩宗森禪門(大森某力) 十三回忌香

(付箋「文正元年卒」)

祖意西来正絶詮、趙州差出緑參天、(挙香云、)無端截断庭前柏、燒作炉中一縷烟
大日本国但州路竹野郷居住菩薩戒弟子孝男浄観等、文明十年初十日、伏値先考栢岩宗森禪門一十三白之忌辰、就于慈視禪庵、説伊蒲饌供苾芻衆、是令弟主席同心勦力營弁也、茲庸仲知藏、一夏已来、不乎酒碗、堅護木叉、揮翰親書妙法蓮華經王全部、以酬昊天厚德、純孝可嘉也、雖然古德云、誦經三千部、曹溪一句亡、知藏若能向筆禿情忘处、見徹曹溪一句、報因足矣、円通懺摩薰修者一座、広大施食修説者一会、謹命現前清衆、同音諷演大頂白傘蓋無上神呪、莊嚴報地、借手山野、焚此宝香、普用供養本師婆伽至尊、安養弥陀善逝藥師仏、慈氏尊妙德徧吉觀世音德大勢地藏願王、大聖不動十方常住三宝、泊十殿冥君諸司獄吏等、仰願降臨此会、各為証明、專冀靈住「位力」、惑障永尽、罪愆全蠲、菩提不退、般若現前、乃至沙界含靈、均蒙余薰、共惟、栢岩宗森禪門、胸襟豁如、氣宇儼然、侍養罄誠、有孝有敬、公論和衆、無党无偏、福基鞏因(固力)、貶揚州於屋裏、夢宅虚幻、了南柯於枕辺、考妣追嚴、延六和清衆、營備三德嘉饌、集百員浄侶、誦誦千部妙蓮、或丐者盈門、索食頻々作鉄笛弄、或盲人在座、演史時々彈琵琶絃、屢開施門、咸帰福田、忽回有相善根、向夷降「際力」理、曾扣先師籌室、探教外禪、玄々乎、迥出思議之外、昭々然、常在鑑覺之先、石火電光無常迅速、銀山鉄壁直指单伝、直得吹毛出匣神箭離弦、何妨海底走馬陸地行船、正与麼時、不

管風光、豈有本地可見、爭羨昼錦、終無故鄉可還、処々真々々々、歩々總是活路、塵々爾々々々、頭々莫非通玄、這箇且置、即今孝子等、仰罔極恩、正臨嚴諱、說如在奠、專闢法筵、端的報一句、諸人還知麼、其或未然、更須子細、（良久云、）却後仲秋三五夜、中天明月一輪圓、

71 〔道性預修三十三回忌拈香法語并經銘〕長祿二年十一月廿二十八日 於太平寺

道性禪門預修三十三白忌拈香

見性直成無上道、琳琅映照旧青氈、從來在沒一如実、梅瘦前村風雪天

大日本国但州路城崎県氣比莊居住三宝弟子妙琳・道性・妙性等、長祿二季龍集戊寅、初自端月至于黃鐘、每月各涓取一日、以為初七泊三十三白忌辰、乃就于太平精舍、供仏齋（ママ）僧、預修沒後冥福、孟春逢一閏、黃鐘取兩日、揔十有三日也、惟蓋季子有僧、其名明器、聞七分全得功德、頻々勸發祖母及二親故也、剩借手苾芻、漸写一乘妙法蓮華經王三部、或看讀之、以三人前程資糧云々、加之異口誦金剛般若經、一心修水陸勝會儀、夫妙法蓮華經者、雖云三周七喻之說、專以一大事因緣、欲出現於世間、示悟入為最要焉、經曰、五十展轉之隨喜、（脱アルカ）八十箇年布施、及至宣布法化、一時皆令得四道果、不及其一分淺略、如是至妙、不言而可知矣、今日念有八日、說三十（ママ）白散筵、謹命現前比丘衆、諷演白傘蓋無上神呪之次、小比丘某、感其純誠至切、不請爇此一香、（拈香云、）不蒙雨露所潤、不為陰陽被遷、以夢幻泡影為枝條、以常樂我淨為馨香、以般若空惠為花果、以涅槃妙心為根苗、梅檀沈水絕比量、出自孝子一念裏、專用供養 万法 正體毘盧遮那覺王、靈山教主釈迦牟尼世尊、安養淨刹弥陀如来、淨瑠璃界藥師善逝、歡喜国土阿閼仏、觀史天宮慈代尊天、文殊〔殊力〕普賢觀世音得大勢虛空藏地藏王不動尊等諸大薩埵、迦葉阿難諸声聞衆、微塵刹土三宝勝位、洎閻羅大王十殿冥君諸司獄吏等、所鳩殊勲、回向上仏果菩提、伏願各人寿位、惑業盡処、常安常樂、終成无相福田、報緣謝時、无惱无憂、速生不退仏国、乃至法界群類、普霑真薰、茲惟現存道性禪門、志氣確乎、身材挺然、孫子一家親昵、有孝有義、父老隣里和穆、無党無偏、元弄潮人、波瀾拳棹、是釣魚郎、風月滿船、或時蓑笠、烟雨濛々、鞭起露地白牛、或時犁鋤、白水漫々、耕破山前片田、因許一子之出家、要極双親於倒懸、料知当来定受苦報、何遑今世善除罪愆、痛悲三有輪転久、頻勸七分功德全、信心忽發起（脱アルカ）、預修既閱三十三白、慈母不枯羸衰頹、甲子永保八十五季、雖共貞婦具足福慧、早令阿娘脱離蓋纏、過去鍛金師、結无烟之約於紫金光、遠世青提母、消慳慳之花於目犍連、治生産業、皆与実相不相違背、業障懺悔、直得般若条爾現前、五欲淤泥不能汚染、玄々乎、迴出思議之外、三毒猛焰何曾燒害、了々然、常在鑑覺之先、於是遲疑夢裏、明々有六趣、若能領略醒後、空々无大千、雖然恁麼、迷悟不相干、必畢若何宣、（挿香云、）熏天炙地、香郁火裏、放開三朶蓮、

右道性禪門等当逆修散場、漸写法華妙典、以伸供養懇志、可嘉焉、謾書語且代經銘云、枝葉猶如天樹王、栽培不敢藉陰陽、威音那畔古刀尺、截断未成一炷香、

将家股肱、武門棟梁、松筠類貞節、鉄石比剛腸、文々六歟、〳〵猶請三略、忠直寧乱五常、雖処居家、篤婦金仙子、本自拔俗、足称白眉良、或運籌屢入亜夫（周）營、或禪偏常拋浄名床、忘境虚幻処、黄梁半炊夢魂易驚、信根純熟時、醍醐上味舌頭親嘗、靈鷲峰峭巍々、一条

法会（脱アルカ）儼然、白牛車転轡々、三界火宅自清凉、不可思議真実相難弁、大事因縁仏知見已彰、輪王髻裡珠、賞有功者、龍女手中宝、速献于覺皇、太虚空裏、古仏宝塔忽現、阿僧祇劫、如来寿算无量、師子嚙呻、最初妙德答阿逸多問、本光猶言如今日、象王回旋、末後徧吉祥威徳国、勸發遙来自東方、希有々々、甘露法雨遍界充潤、奇哉々々、優曇鉢蓮一時芬芳、雖然如是、正好水中分塩味、須知蜜裡有砒礪、所以祖師云、心迷法〔華脱〕転、風雲掩明月、心悟転法華、朝日消嚴霜、說法四十九、大蔵一字無、誦經三千部、曹溪一句亡、只這一句子、即是百鍊鋼、切忌向意根下卜度、更須於鑑覚先承当、如擊塗毒鼓、難触音声、似揮大〔利脱力〕劔、誰犯鋒鋭、正恁麼時、汝若当下薦取、直得、照破無明昏暗、見徹本地風光、者箇且置、只如大家、瀝誠罄考〔孝力〕、恩田報酬、供仏施僧、梵筵開張、覆蔭後昆底消息、即今作麼生宣揚、良久云、庭前有此梧桐樹、五色祥雲見鳳凰、

72 〔前駿河守〕聯芳院殿恕叟聖忠（垣屋豊茂）三十五日忌拈香法語〕文明十六年七月四日

聯芳院殿恕叟聖忠禪定門（垣屋豊茂）五七日香

人間七十有余季、白髮丹心節義全、起滅元来没蹤跡、西樓月落不離天、

大日本国但馬州路美含県竹野郷居住奉三宝弟子孝男豊峰等、文明十六季七月廿日、伏値先考聯芳院殿前駿州太守恕叟聖忠禪定門五七月（ママ）之辰、預於孟秋初四日、就本宅供仏施僧、罄追嚴之誠、漸写法華妙典、修設水陸勝会、薰修円通懺摩、謹命現前清衆、同音諷演大仏頂万行首楞嚴無上神呪之次、借手山野、燒此宝香、普用供養、靈山会上本師釈迦牟尼大覺世尊、西東方薬師如来、当来阿逸多、十方薄伽梵、妙徳徧吉觀世音持地尊、大阿羅漢諸賢聖衆洎今日冥主焰羅法王等、如上殊勲、專希冥魂超昇者也、共惟、聯芳院殿前駿州太守恕叟聖忠禪定門、孝悌惟本、忠恕為先、仁愛洽而無偏無党、号令嚴而有滅々威歟、有権、軍士皆趨風、能暗武夫技芸於莫幙下、胡命在破竹、曾助令兄急難於馬前、非啻精窮六韜三略、抑亦願脱五蓋十纏、心有則明々有六趣、心无則空々無大千、欲到無心、暫借有縁、外修安養業、内探少室禪、池中蓮胞、雖慕心身之樂、岸上桂香、不覺鼻孔之穿、生不生之〔生脱力〕、空裏走磨盤、滅不滅之滅、水上浮鉄船、木人唱起白雪曲、石女吟断蓼莪篇、殘暑推不去、世界恁麼熱、片葉吹得落、秋風若个辺、公安現成聖諦豁然、要弁端的快着一鞭、只如今月〔日力〕、資薦冥路、開張梵筵、罔極深恩底一句、若何敷宣、〔挿香云、〕不是旃檀与沈水、真薫々徹一炉烟、

73 〔賀仲正慶尼十三回忌拈香法語〕於慈親庵

賀仲正慶禪尼（大森某夫人力）十三回忌香

起昇只因孝心篤、九蓮華発安養国、子葉孫枝繁茂時、大家忖慶不応哭、

大日本国但馬州路美含県竹野郷居住三宝弟子孝男法名浄観等、伏値先妣賀仲正慶禪尼一十三白之諱辰、就于慈親庵、説伊蒲饗供苾芻僧、是令弟庵頭比丘善知、同心勦力所當弁也、茲季子庸仲典蔵、一夏已来、不手酒椀、堅護木叉、為先孝伯嚴翁洎淑靈、揮翰親書蓮典七軸妙文者二部、各酬慈育之恩、蓋双親嚴諱、纔隔七日而已、雖是非産母、志義逾真子、其志寔可

貴焉、薰修円通懺摩一座、修設广大施食一会、謹命現前清衆、同音諷演大仏頂白傘蓋無上神呪、莊嚴報地、借手山野、焚此宝香、普用供養、本師婆迦至尊、西方弥陀善逝藥師仏、阿逸多妙德徧吉、現座道場觀世自在薩埵、徳〔得力〕大勢持地尊等三宝勝位、仰願降臨此会、各為証明、專冀淑靈、以聞香力、多劫苦輪永脱、無上仏果速成、乃至法界群類齊蒙余熏、共惟

賀仲正慶禪尼、慈悲仁讓、柔和忍辱、雖雖（ママ）処女流幻質、能備婦人淑徳、厭衆生界、恋慕出世、教投名師室、頂受離塵服、風前芭蕉足觀、身体非堅、濁水摩尼誰知、禪界無欲、五障紫纏、憐飛蛾赴明燭、一性円明、歎盲龜值浮木、摩耶夫人、三世諸仏悉借胞胎、無垢世界、八歳竜女頓成正覚、弁鉄石心、正好信力堅固、施襪線才、自然工夫純熟、瓦解冰消、從前業識、顯露当陽、本来面目、心無則鴆毒却醍醐、心有則醍醐却鴆毒、有仏処不得住獅子生狻猊、無仏処急走過鳳凰産鸞鷟、雖然怎麼今日、孝順精誠、說此諱斉（ママ）、劬劳深恩、薦彼冥福底一句、如何説得、〔举香云、〕秋風吹入広寒宮、桂子紛々香馥郁、

○意ニヨッテ改行

74 〔遠雲（為孫力）頂相自讃〕 応永二十八年十二月一日 帰周彦頴需

三尺竹篋、正今未行、凜然神威、囊錐脱穎、 右産〔彦力〕頴藏主写予陋質、需賛語、信筆乱書耳、 皆応永廿八辛〔丑脱力〕臘月初一日 前大明遠雲為孫

75 〔帰周彦頴頂相自讃〕 寛正五年八月

釈迦弥勒猶是他奴、匪重己靈寧混凡愚、分析微塵那个真相、披剥万象如何名摸、煩他毛穎写我幻軀、意句俱不到、参禅学道、面目頗相似、方袍円顱、但見牛跡比大洋、却認魚目作明珠、阿呵々、曲象木牀、黒蛇在握、一任傍人、呼鷹浮図、 右二子写予陋質而需賛、不獲拒漫拙語云、 寛正五季南呂日 前大明帰周彦頴

76 〔帰周彦頴頂相自讃〕 長祿三年十月 璽宝需

打得天边月、釘着空中雲、這般風狂子、直甚麼分文、咦、豁開娘生双眼、依龍八両半斤、右璽宝典藏絵予幻質需賛語、書以寒〔塞力〕其請云、 長祿第三之曆小春日 前大明帰周彦頴

77 〔黙翁道号頌〕 観応三年十月 大円

孤立大方堪結舌、貧生逐日心如拙、人間天上无知音、笑殺清風与明月、 右賦黙翁号、与信道上人、 観応第三十月日 大円叟

78 〔覚書〕 永正三年

遠雲和尚示寂、永享元庚戌季三月十日、至永正三季丙寅、既得七十八歳、章岩逝云〔去力〕、明德三季辛未十二月晦日、至永正三季丙寅、既得一百十七歳、

79 〔養叟宗頤頂相自讚〕 康正二年九月日 宗昭需

右眼八兩左眼半斤、老々大々不直分文、何故、昭々於心目之際、而相不可觀、晃々於色塵之內、而理不可分、也誰知痛痒、是你出逸群、直須洒々落々、休更紛々紜〔紜力〕々、七十二棒雖輕恕、一百五十難放君、嘎、宗昭首座画愚夫陋質而請贊、猥以云爾、 康正二禩丙子九月日、 養叟老拙宗頤書、

80 〔遠雲頂相讚〕 彦達

遠雲和尚〔肖〕像

抹過東山最上巔、錦鱗躍出瞎驢辺、無端激起一条水、雲頂峰（大明寺）頭浪拍天、右老漢、乃東山三聖（東山湛照）門下後裔、惠峯（東福寺）無価軒中侍賓、徑投黑川流、終薰大明席、謾着拙語、訐厥始卒云、爾子太老衲産〔彦力〕達八十一歳拜贊、

81 〔帰周彦頤頂相讚〕 応仁元年八月 □磨需

帰周和尚〔彦頤〕肖像

隸名山之恵、坐縁中之備、嘯風南山白額蟲、踊濤東海赤梢鯉、或時拳芬陀樹、而手弄玉華、或時寓靈芝嶠、而衣薰桂子、没腰立庭雪、想彼九季面壁、任心撮波月、灑然一室？如水、高々峰頂雲、呈五色祥、峨々山前松、積万季翠、両処領住持、一生畢能事、行李克始克終、宗派有源有委、著語要記師巔末、高弟子之磨為諱、

右前大明帰周頤和尚遺像、小師上人需贊、皆応仁改元丁亥中秋、法弟比丘 某拜書、

82 〔彦達力〕頂相自讚〕 源正需

自贊

雲頂山（大明寺）頭明月、万季峰（円通寺）上青松、手裡黑蛭三尺、看々、両処化龍、咦、法姪源正知賓肖余幻質、不獲峻拒、謾著拙語云、

83 〔盛禪像讚〕

贊盛禪阿闍梨象

深入三密觀、專起四摂行、浄業易成、指端摩尼百八、自性難染、手裡蓮華一茎、全體不生是何物、月在青天水在瓶、

84 〔帰周彦頤但馬大明寺入祖堂法語〕

帰周和尚〔彦頤〕大明寺入祖堂

董菰一周留一筇、粥魚響罷聴斉（ママ）鐘、孤雲出岫又帰岫、万朶青山喜色濃、 共惟、前住当山第廿世帰周法兄禪師、英邁志気、峭峻機鋒、稟質備之中州、隸名洛之恵峯（東福寺）、小玉頻呼、繼勤巴子（圓悟克勤）芳躅、蔵鑰在握、慕頭（重頭）雪豆旧蹤、空五千文字於双

眼、吞八九雲夢於寸胸、凜乎嚴威、誰敢犯秋霜、靄然和氣、人皆坐春風、爛壞鼻孔、芝嶠昌々嫩桂二株、卓豎寒毛、少林皚々積雪九冬、有時弄玉華於芬陀樹下、有時探明月於如水室中（与可心交）、主山鎮如意宝、截断紅塵一溪水、故家護旧青氈、衝開碧落万季松、宗派有源有委、流传天沢、境界無隔〔無脱力〕礙、証入円通、扶起破沙盆、開正法眼、与建大明幢、振仏心宗、〔拈牌云、〕建化門中能事畢、今季七十七齡凶、転功就位底時節、列祖師間添一重、〔以牌度与維那、指祖堂云、〕維那且向這裡、安排名牌已安、了安後作麼生、驪珠璨爛沢底活龍、

85 〔帰周彦穎十三回忌拈香法語〕

帰周和尚（彦穎） 十三回諱香

曾入皇城振金錫、慧峯（東福寺）会裡侍高賓、九季冷坐少林雪、一代玄談驚嶺春、月上青宵輝性海、波翻黒水度迷津、平生恩義不能忘、臨此諱辰思厥人、只如諸弟、開張梵筵、報答慈蔭、真慈還受供養麼、〔挿香云、〕生氣凜然真面目、香烟断処現全身、

86 〔帰周彦穎三回忌経頌〕

帰周和尚（彦穎） 大祥忌、書法華妙典、以薦品位、仍綴一偈於楮尾云、
宝処已臻毛穎子、草庵不宿楮先生、句嫌今触阿師諱、三万燈明同一名、

87 〔帰周彦穎一回忌経頌〕

蓮吐馨香遍界翻、一毫端六万余言、摩挲老眼区区写、報答髻季撫〔撫〕育恩、
茲迎帰周法兄禪師（彦穎） 小祥忌辰、妙法蓮華経、無量義觀普賢開結二経、心阿弥陀・
回向等経、漸々自書畢功焉、奉為真慈增崇品位、仍唱一祇夜、以泄模写誠意云、

88 〔妙性尼預修四十九日経頌〕 応仁元年七月八日

応仁元季丁亥七月初八日、預設妙性禪尼尽七之忌斎、蓋自端月至于今、各取一七以修之、是孝男僧明器、為二親所勸発也、剩妙法蓮華十部漸書者一部、実転当来苦報者也、謾書一偈以美厥精誠云、〔付箋「寛正二年寂」、付箋ハ誤リ〕

醍醐滴々是清涼、罪障猶如日照霜、一性妙成無上道、応追龍女往南方、

89 〔道円経頌〕

為道円禪門経銘（九月十五日）

森羅万象仮金空、七喻三周蓮吐紅、菊雨相催重九後、一円摠在未開中

90 〔教阿経頌〕

修多羅教指月（脱アル力）、無元字脚落言説、須弥筆発妙蓮華、只因孝子一心功、〔孝男為父教阿命余写蓮経、〕

91 〔知足正知二十五回忌經頌〕 文明元年九月二十四日

文明元年己丑菊月二十四日、爰孝男等伏迎先妣知足正知禪尼二十五回之辰、供仏齋僧修追嚴之儀、預漸写一乘妙典、資薦冥福酬劬勞德、其志可嘉焉、〔付箋「文安二年寂」〕知見開時悟入深、今秋五々忌辰臨、蓮華応是讓余馥、霜後黃華百鍊金、

92 〔妙總庵聖山永賢尼十三回忌經頌〕 文明元年十月三日

文明元年十月初三日、伏值妙總開基先妣聖山賢公（永賢）大師（ママ）一十三回之忌辰也、現主比丘尼宗榮、漸書大乘妙法蓮華經一部、以嚴厥去識、仍述五十六言、助厥誠精云、〔付箋「長祿元年寂」〕

放白毫光先照東、四華六動散香風、世尊說法靈山会、龍女獻珠娑竭宮、二木雨露三草綠、一池蓮淨七枝紅、普賢不下象王背、現大神通藕蔽中、

93 〔妙寿尼一回忌經頌〕 文明九年七月十一日

昔文明九年丁酉七月自恣之先四日、伏值物故妙寿禪尼小祥忌之辰、道泉及諸子等、就于私宅供仏齋僧修追嚴之儀、預於日前命淨侶、繕写一乘妙法蓮華經一部、以資助冥福、且酬劬勞之德、其志可嘉焉、仍唱一祇夜以証之云、

光陰修忽一周季、賴喜孟蘭救倒懸、灑蓼莪篇諸子淚、香風吹轉筆端蓮、

94 〔機叟□用三十三回忌經頌〕

五濁淤泥汚染觸、毫端擎出七枚蓮、即今大用現前处、襲々香風鼻孔穿、

右茲迎機叟用公禪門三十三白之忌辰、孝男淨恩等、供仏齋（ママ）僧以伸追嚴之儀、預命淨侶漸写大乘妙曲〔典〕一部、資薦冥福、乃至法界群類俱霑法味、頌一偈証之云、

95 〔妙總庵聖山永賢尼四十九日忌經頌〕 寬正四年十月晦日

寬末（寬正四年）十月晦日、伏值妙總尼庵開基聖山賢公（永賢）大姉七々之辰、賦廿七韵、以代經銘云、

蘇迷盧八万由旬、瑠璃映徹南閭浮、鉾滴散成葦原国、扶桑那畔出日頭、洛陽城外西北隅、山陰道路但〔馬脱力〕州、城崎県内氣比莊、飯谷之村地更幽、茲有夫人性貞潔、慈悲仁讓頗溫柔、三從最磬孟光敬、内清中沢源氏流、慟哭俄洒別離淚、三男鞠育繼箕裘、鵲〔鵲脱力〕原上秋風冷、二翰殞墜抱悲愁、早悟世相無真美、幻生幻滅是浮漚、仏衣応器親頂受、先師室内添一籌、師以永賢為法諱、聖山雅称友人謀、締構禪庵号妙摠、易服披緇成比丘、十重木叉持来久、七軸蓮經誦不休、久嬰沈痾瘥且癸、奈何某疾尚弥留、殘喘盡時臨属續、忽驚夜壑已移舟、寬末〔未力〕十月初二日、行季七十有三秋、祇有孝男源高重、独主後事丁此憂、招僧能設中陰儀、嚴備茶菓与珍羞、晨香夕火無怠惰、書〔昼力〕誦夜禪專勤修、道場殊写妙法華、六余言筆下収〔脱アル力〕、開示悟入仏知見、演暢七喻又三周、龍女成仏無垢界、八正道中駕白牛、何慮冥路乏資糧、自然宝蔵曾不求、醍醐毒菓斉嘗味、舜若多神〔肝脱力〕腸抽、左

転右（脱アルカ）轆々、風流鉄磨姓其劉、七々光陰非延促、劬勞恩德一時酬、看々小春今日尽、早梅吐玉暗幽浮、

96 〔妙総庵聖山永賢尼三十五日忌経頌〕

地藏願王嘆希有、聖山五七廻今辰、靈山会上妙経力、沙竭海中成仏身、金錫六環響沙界、宝珠一顆破昏塵、不忘忉利天宮勅、地獄門前笑転新、

右、当聖山賢公（永賢）大姉五七之辰、書底妙経王、唱八句伽陀、以証之云、

97 〔剛叟浄金三十三回忌経頌〕寛正五年十月二十二日 於西琳寺

皆寛正五年季甲申小春二十有九日、金剛仏子寂舜令弟統宗等、遙迎先考剛叟浄金禪定門三十三回忌之辰、預於念二日、就于西琳精舎、招取清浄僧侶、設伊蒲膳、伸追嚴儀、凡為人之子者、或亡或別、不能覩父母寿終者償有之、今男女散处近境者、咸聚集此場、況老母尚存、臨茲遠諱、大家团圓、罄純孝忱、見之聞之僉羨焉、寔夙善攸冷然歎、其因事不来者亦有一二、想当此日、必濺悲喜之淚矣、剩於日前借手比丘、漸写一乘妙法蓮華経王二十八品、資薦冥福、因茲善利先考、非啻超昇仏地、無辺群類俱霑法味者也、仍唱伽陀以証之云、（付箋「永享四年卒」）

紫荆蓮理見繁柯、三十三霜彈指過、借取筆頭些子力、曼陀界現玉芬陀、

98 〔道善十三回忌経頌〕応仁元年九月七日

法界円融無上道、初中後善妙経王、一毫吸尽硯池水、散作醍醐滴々涼、

右、応仁初元丁亥菊月初七日、伏値亡父道善禪門一十三回忌之辰、預就余一手、書法華妙典、雖老眼朦朧、風手掉戰、感其精誠、区（空白行、改頁）々漸書而薦冥福、且賦一偈以識云、（付箋「康正元年寂」）

99 〔道性・妙性預修十三回忌経頌〕

歴劫邪心翻最難、二開士使父王安、令因孝子憶親功、七朵蓮華一筆端、

右、本朝古徳、一季十一个月各取一日、黄鐘之月取二日、以為逆修、齊天下人民倒而行之、但州氣比僧明器、為二親道性・妙性、於十一月二十八日、殊啓斎（ママ）会、預修三十三回忌、亦兼当十三周之忌日也、剩命老比丘某、書法華妙典出一手筆、專薦父道性者也、頌以代銘云、

100 〔妙性尼三十三回忌経頌〕

青提世々目連母、仏自摩耶胎内生、沙竭言中海竜女、南方無垢道方成、

妙性禪尼卅三回之経銘

文明二年庚寅臘月念四日、廼物故了心禪門小祥忌辰也、去歲今日值大雪崩裂壓殺、老父請余令書寫大乘妙典一部資冥福、是思慕深切故也、仍述一偈以充經銘、且助悲哀一分云、雪埋亡子不歸家、今日老親情更加、心迷處被法華轉、心悟時忘轉法華、

102 〔賢尊母經頌〕

天之所祐最應尊、薦拔酬（ママ）罔極恩、七朵蓮華希有瑞、唯因一片孝心存、
教僧賢尊為亡母書蓮經之銘

103 〔知足正知經頌〕

楓葉將紅籬菊黃、刹那三十有余霜、頂門開豁仏知見、七朵蓮華遍界香、
為知足正知禪尼書蓮經二首
遙迎遠忌哭蒼天、霜露衣寒風樹辺、三五日来重九後、菊花轉作筆端蓮、

104 〔本淨尼三十三回忌經頌〕

似慕如來入涅槃、纔經三日掩靈棺、遙迎遠忌痛腸泪、菡萏香翻一筆端、
本淨禪尼三十三年忌經銘

105 〔貴庭明富三十三回忌經頌〕

無垢界中坐寶蓮、后毘覆蔭富薰天、一毛吐出醍醐味、滴々凉人養子縁、
貴庭明富禪尼一十三回之經銘

106 〔帰周彦顥十三回忌經頌〕

乘此宝乘至道場、一彈指頃十三霜、松風六月忽吹転、七朵蓮華遍界香、
為帰周（彦顥）十三年書寫蓮經銘

107 〔帰周彦顥經頌〕

伊蒲淨饌献香茶、十有三霜閱歲華、藕竅之中繰糸出、等閑牽動白牛車、
同大忠諸徒為帰周和尚（彦顥）書蓮經

108 〔瑞岩宗祥經頌〕

通公書記為亡父瑞岩宗祥禪門書蓮經作偈代銘
嚴王昔日已翻邪、一片孝心誰得遮、借取筆頭些子力、藕糸絆倒白牛車、

109 〔文翁昌仲預修下火頌〕

文翁昌仲禪門命余書連（ママ）經於白帷之上、預備臨終之服、仍模吾大明師祖（月庵宗光）秉炬之語、以為津送之章、使述一偈証之云、

現男子相託人中、生死衣△元敷、△来必竟空、赫々大明無不遍、全身独露老文翁、

110 〔己仙道寿十三回忌経頌〕 文明四年五月三日

文明四歴蕤賓初三日、伏迎先考己仙道寿禅門一十三回之忌辰、爰周閭上人瀝誠一筆書写金剛般若経六卷、以酬罔極之恩、其志可嘉焉、仍唱一祇夜、以証之云爾、
宗乘一唱絶言詮、着手心頭便判然、薦地踏翻生死海、只看俊鶻入秋天、

111 〔性天経頌〕

薦彼魂神唯竺墳、花開菡萏吐奇芬、黑頭公子大鏡舌、六万余言如是聞、
性天禅門経銘

112 〔賀仲正慶尼経頌〕

君於異腸意無他、世上雖親疎者多、看々筆端三昧力、白牛車出苦娑婆、
賀仲正慶禅尼（大森某夫人力）経銘（子才上句書経異／腹之子也、）

113 〔某十三回忌経頌力〕

乘此宝乘至道場、一彈十三霜松風、六月雖指頃無価、不及醍醐滴々涼、

114 〔明富尼経頌〕

無垢界中坐宝蓮、后毘覆蔭富薰天、一飛（ママ）毛吐出醍醐味、滴々涼人養子縁、
明富禅尼経銘

115 〔栢岩宗森経頌〕

六万余言一筆端、十三忌景只跳丸、仏知見似仲秋月、末仲秋光着眼看、
栢岩宗森禅門（大森某力）経銘

116 〔（前肥州太守）嘉徳□祐三回忌経頌〕 文明七年七月十二日

文明七季乙未七月十二日、廼先考前肥州太守嘉徳祐公禅定門大祥忌辰也、孝男某供仏斎僧、諷演白傘蓋神呪、罄追嚴之忱、預於日前、漸写大乘妙典全部、薦彼冥福、剩自初一日限盂蘭盆僧自恣之辰、每夜処礼当境靈場、唱弥陀宝号、酬罔極深恩、願以此功德不還娑婆苦郷、連速生安養淨刹者也、仍述伽佗証之云、

孝子母追嚴志専、蘭盃二六正三年、靈場処夜弥陀号、八徳池中七朵蓮、

117 〔妙寿尼三十五日忌経頌〕 文明八年八月十五日

丙申（文明八年）仲秋十五十六陰雨慳晴、偶妙寿禅尼五七之辰也、題蓮経上、
仲秋雨暗二三更、今日陰雲猶未晴、莫以陰晴認光影、性天心月一輪明、

118 〔帰周彦穎百箇日経頌〕

七枝開遍妙蓮華、添得重々眼重花、転轡々兮阿轡々、一毛頭上白牛車、

帰周法兄（彦穎）卒哭之辰、倡以充経銘、

119 〔偈頌〕↓「宗源堂上老師」、円通寺住持

謾賦七八一章、聊記黒□〔川力〕山中高趣、秦呈宗源堂上老師、兼簡円通主翁座側、余入山三日之後、一僧語曰、古老相伝、此山綿亘十里殆一日程、疊嶂攢巘厥数九万八千云、故撲句言之而已、

黒山九万八千嶺、七十二峰猶不多、螺髪囲音太初色、鴨頭吹緑絶巔波、宿雲籠日雜烟霧、吞木経春長薜蘿、脱趣禅堂如白昼、楼鐘敲月老頭陀、

120 〔偈頌〕文明七年七月十日

文明乙未（七年）七月初十夜深更、乘輿偶経聖廟神、俗曰雪之白浜、古有和歌、月明如昼、吟歩徘徊、帰舟及曉、仍賦七八一章、記其所見云、
露滴松間菅相廟、一灯知是海神擎、玉岸高列疑屏擁、鉄石長舖訝席平、龍鼻似秋凉月照、沙頭如雪水浜明、扁舟帰掉〔棹力〕猶回首、載得曉楼鐘数声、

121 〔和韻（円通寺住持偈頌）〕

円通主翁、今秋因病俄鳴退鼓、便浴温陽、因閱二七、不還大忠旧栖、将就故園暫治風疾、仍述七八一章、以攄旅懷、其語頗切焉、謾次嚴韻、聊祝平復之有日云、
風冷梢侵身染病、旬余取浴寓温身、代扶老杖人能待、煎続命湯童不眠、秋鴈入聞驚□起、曉鐘催句見詩伝、定知鑿療得神効、幸有家郷骨肉縁、

122 〔和韻（大忠寺住持偈頌）〕

（意ニヨッテ改行）謾依大忠主翁春雪嚴韻
去年冬暖暉無雪、六出到春風外斜、深塙〔塙力〕欺梅吹片々、寒炉索火得些々、君呵凍筆題佳句、独解氷懷啜苦茶、臘底花雖如二月、無花二月奈咨嗟、

123 〔和韻（得周彦穎偈頌）〕

帰周法兄（彦穎）寄慧峯（東福寺）社友詩篇〔并〕諸老和答之什、偶見見（ママ）其旧藁、次韻追和、
半百年前惠峯寺、憶随周老十春長、青松千樹涛飜枕、丹桂一藁香滿床、幸為諸公見相識、競賡四語非（脱アル力）常、旧時洗玉礪辺夢、今日蒼波白鳥郷、

124 〔和韻（雲叔偈頌）〕

惠日峯（東福寺）下寓桂昌庵內少林也、有千松林洗玉礪等十境、奉同雲叔侍史趣浴省親之七八嚴押、

自幻〔幼力〕隨師寓但州、東風偶向日邊遊、一天千里倚門望、兩地三春寸草愁、水上溫蒲吹嫩綠〔綠力〕、林中新笋薦甘柔、如今京洛烟塵滿、早可歸來円話頭、

125 〔和韻（清修寺住持寄誰庵偈頌）〕

次韻清修主翁見寄誰庵老三首

幾年叢席結交盟、衝雨來弓踏月行、三及龍門同度化、百層雁塔其題名、梅惟呼竹作難弟、竹亦推梅是令兄、望斷平原秋樹色、夢回海岸夜潮生、
喜見禪余詩律新、逢場干木只隨身、趙州（從諗）栢樹師無語、常老松花道不貧、友社風移誰久要、祖庭秋晚憶先人、清修不訊掩關坐、努力追回小室春、
白鳥相馴白髮翁、篷窓忘却達兼窮、殘更紅日出波底、何處青山似洛中、幾箇浴鳧浮暖浪、一行飛鷺上晴空、天書若落釣竿手、忝有他時吾道東、

又

前朝蕭寺九重城、步響青糸曳履行、輦路鶯花共携手、翰林風月早聞名、聯芳統航憶諸老、鐘采埋光惜二兄、兩地雖分猶不遠、相逢幾度話平生、
龍山掛錫旧時賓、今日馬声深處身、烏角巾歌陶令（淵明）醉、雀羅門掩翟公貧、古來名路走諸子、林下高風見一人、喬木蔭疎枝葉少、寥寥奈此故家春、
旦夕咨嗟八十翁、滿城鞞鼓哭途窮、烏飛兔走分携後、鴈斷魚沈逆旅中、冬嶺孤松天欲雪、江干折葦水涵空、如今贏得蓬窓宿、旧釣磯南沙岸東、

126 〔偈頌（大和達磨塚）〕

達磨塚（和州山岡達磨塚、今之達磨寺、）

片崗御馬不前處、人臥路傍如忍飢、和語有歌方所答、聖和相遇古來稀、壙中去後留空棺、榔上依然遺故衣、却把故衣親自着、風吹香氣滿黃扉、

127 〔偈頌（淡路）〕

上宮太子淡州海浜感如意輪像

太子淡州遊海浜、隨波壞匿漾風漚、撥開稽首大悲像、瞻仰尊顏如意輪、七世因緣堪屈指、片時管帶不離身、漂流遙逐扶桑跡、聖德由来必有隣、

128 〔偈頌（洛中六角堂）〕

洛中六角頂法寺、俗曰六角堂、

將創四天王寺基、山城州裏採材來、冷泉水畔脫衣處、榲樹枝間置像時、一箇尊容重難動、六棱精舍竟安持、黑甜鄉裏具相告、此地有緣君勿疑、

129 〔偈頌（大和当麻寺）〕

和州当麻寺安養織図、今之禪林寺、
奇哉安養界中相、識〔織力〕婦弄來機杼声、五色染成新井水、一株留得旧時桜、丈余兩節竹
横軸、百駄幾糸蓮折（脱アルカ）、信女親迎西刹主、化尼到处感堅誠、

130 〔偈頌（大和長谷寺）〕

和州長谷寺
有寸流出近江水、霹靂声中木一株、所至民家憂癘鬼、何期仏屋刻靈軀、印來足跡怪平石、立
座脚跟驚合符、夕火晨香長谷寺、到今永々護皇図、

131 〔偈頌（近江石山寺）〕

近州湖西石山寺
曾感藏王神助夢、高僧持誦此精修、大慈又轉輪塵刹、一釣翁垂糸石頭、宝鐸誰埋水西寺、黃
金獨貢日東州、遮那十六丈光相、世界三千無不周、

132 〔偈頌（紀伊粉河寺）〕

紀州粉河寺
獅人昔為窺猪鹿、夜々山栖止樹間、忽感靈光知地勝、欲安尊像棄塵縁、化童睢〔雕力〕刻兎
烏七、妙相端嚴手眼千、逆順二途共方便、從來月落不離天、
兒疾痊時修童去、父將諸子討蹤行、忽驚像臂箸箇掛、不点壇頭灯盞明、村落似屏青嶂麗、河
流如粉白波清、大悲願力施無畏、感激人間群類情、

133 〔偈頌（摂津勝尾寺）〕

摂州勝尾寺
比丘昔日到勝尾、彫造自言其我能、金地宮堂功畢竟、白檀刻像德惟馨、扶桑山上出光炎、百
濟國中輝掖庭、壯歲后妃髮皆雪、滿頭紺碧感神靈、

134 〔偈頌（洛北鞍馬寺）〕

城北鞍馬寺
南華親告精藍地、鬚髮皤々一老翁、勝境追尋從白鳥、前途隨後役青童、征鞍俄止山阿際、靈
像驚看茅草中、城北峯如三鈇杵、多聞天浩々神功、

135 〔偈頌（落東清水寺）〕

洛東清水寺
独沂淀河因夢事、忽看金色一文流、窮源尋処瀑泉漲、僻地從來茅屋幽、自說老翁相待久、報

言代我此淹留、東州去後無蹤跡、双履猶遺在嶺頭、
風姿閑雅是誰氏、白髮栖遲二百季、布衲芒鞋問菴處、
像材株桑指庭前、偶因遊獵一將到、便
見刻彫千手全、京洛城東清水寺、普天靈感至今傳、